

「道民の森」における 森林活用型ワークेशन

北海道水産林務部森林活用課

第1回の内容

施設概要

- ・北海道が整備した「道民の森(H2~)」は、メインの施設となる神居尻地区のほか、合計6地区、約1.2万ヘクタールからなる森林総合利用施設。
- ・**利用者数**はH12の27万人超をピークに、**一部用途変更等もあり減少し**、近年は13万人台。
- ・**メインの神居尻地区**には、宿泊施設、キャンプ場、森林学習センター(木工体験可)等があるほか、神居尻山(標高946.7m)への登山、植樹(水源の森)など**様々な体験が可能**。

新たなニーズと利用

- ・働き方改革や新型コロナウイルス感染症拡大などにより、人々の**ライフスタイルが変化**し、森林が癒し効果を有することや密を回避しやすいことに関心が高まっている。
- ・子供向けの森林環境教育や、幅広い世代向けの森の観察会など、来訪者に様々な体験プログラムを提供可能であることから、これらを活用した**ワーケーションや企業研修などでの受け入れ**も進める方針。



森の観察会 (大ナラコース)



つながる。感じる。生まれる。

Hokkaido
Work x Vacation

神居尻地区について



神居尻地区マップ



区分	施設名
ワークスペース	研修室（森林学習センター内）①
	食堂（管理棟A内）②
	宿泊施設（コテージ内）③～⑤
宿泊施設（コテージ）	やすらぎ棟 ③
	こもれび棟 ④
	せせらぎ棟 ⑤



Work



研修室 (森林学習センター内)



食堂 (管理棟A内)



宿泊施設 (コテージ) 室内



Stay



区分	金額
4人用	12,000円 (部屋/泊)
6人用	14,000円 (部屋/泊)

宿泊施設(コテージ) 利用料金



宿泊施設 (コテージ) こもれび棟全景



宿泊施設 (コテージ) 室内

Activity

代表的なもの

森の観察会(日中)

- ・ 指導員が、森の仕組みや自然の大切さを解説
- ・ 複数のコースから選択、料金7千円/回、定員8名



星空観察(夜間)

- ・ 天文の専門指導員による解説
- ・ 料金33千円/回、定員10名以内



ノルディック・ウォーキング(日中)

- ・ インストラクターが指導、ヨガ等追加可能
- ・ 料金38,500円/式、定員20名以内
- ・ 自律神経検査など健康測定 料金27,500円/式



道民の森の野生に触れる(日中又は夜間)

- ・ 指導員が、動物の鳴き声、足跡等を元に解説
- ・ 料金7千円/回、定員8名



Activity

道民の森
神居尻地区
ウォーキング
マップ

ウォーキングを楽しもう！

森林浴でリフレッシュ！

公益財団法人北海道健康づくり財団「すこやかロード」認定コース

初級 わかばコース **2.2km** **40分**

アスファルトの車道、歩道、ダート道などさまざまな道を通ります。芝生があったり、緑のトンネルをくぐったり、途中、ちょっとした山道を登ったり、降りたりします。距離も短く、アップダウンの少ない初心者向けコースです。

準備運動、整理運動はしっかり行いましょう！

◆待速3.2~3.3km/h ◆体重60kgの場合

区分	ウォーキングの場合	ノルディックウォーキングの場合
運動強度	3.3メッツ	4.0メッツ
運動量	2.2エクササイズ	2.7エクササイズ
消費Cal	138.6Kcal	168.0Kcal

※メッツとは、安静にしている状態が1メッツ。平地の健歩行が5メッツとされており、本コースはアップダウンがあるのでウォーキングで1割アップの5.3メッツ、ノルディックウォーキングでその2割アップの4.0メッツとしています。1エクササイズとは、メッツ×時間(時)で計算される運動量のことで、平成18年厚生労働省から生活習慣病予防の健康増進として、1日3メッツ以上の強度のある運動を1週間23エクササイズ以上行うことが推奨されています。



道民の森における 森林活用型ワーケーション体験会



森林活用型ワーケーション体験会 概要

道民の森で、試行的に森林活用型ワーケーション体験会を開催することとし、企業に働きかけたところ、次のとおり3社が参加。

- 開催場所：「道民の森」神居尻地区
- 開催日程：令和3年10月26日(火)午前10時～27日(水)午後3時
- 参加者数：6名 ※企業数では3社
 内訳：4人家族（A社の社員含む夫妻と就学前の子供2人）、B社及びC社の社員各1人
- 参加費用：17,000円/人・1泊2日（宿泊、食費込み） ※1人で参加された方のケース
 内訳：宿泊費12,000円、食費5,000円（1日目昼～2日目昼の4食）

「道民の森」ワーケーションスケジュール ※1人で参加された方のケース

日時	1日目【10月26日（火）】
10:00	道民の森神居尻地区案内所集合
10:10	オリエンテーション
10:30	オンライン会議
12:00	昼食（お弁当）
13:00	植樹体験（水源の森）
14:00	各自（ワーク等）
15:00	木工体験（学習センター）
17:30	夕食（バーベキュー）

日時	2日目【10月27日（水）】
8:00	朝食（各自用意）
9:00	自由時間
10:30	オンライン会議 ～11:30
12:00	昼食（お弁当）
13:00	森林散策（大ナラコース）
15:00	各自解散

体験プログラムについて～1日目～

1泊2日のなかで幅広く提供可能な体験プログラムを用意

- ・ 植樹体験：水源の森(コテージから車で5分)で、仮植していた苗木を植樹。 ※ 1h



水源の森



植樹体験の様子



企業の森林づくりの現場見学

- ・ 木工体験：学習センター(コテージから徒歩3分)の研修室で、木工体験(マイ箸・子供用椅子づくり)を実施。 ※ 1.5h



木工体験



マイ箸づくり



椅子づくり

体験プログラムについて～2日目～

- ・森林散策：道民の森に生育する多くの樹種や巨木を観察できるコースを講師による解説付きで1周。※1.5h



コースの中を散策



大ナラの前で解説



幹に巻き付けた森のクイズ

専門の指導員によるプログラムの料金について

例：森の観察会(講師1名1回) 7,000円～

ノルディック・ウォーキング(1日1式) 38,500円

星空観察33,000円 など

ワークスペースと宿泊部屋について

ワークスペース

- ・ 食堂及び学習センター(研修室)にWifiホームルーターを設置し、参加企業は持参のPCでオンライン社内会議等を実施。
- ・ 現在、ワークスペースとして想定する場所は、食堂や研修室、コテージ。



食 堂



オンライン会議の様子

※左下は食堂の隅に設置したルーター

宿泊部屋

- ・ 今回はやすらぎ棟(コテージ)の4人用を使用。
- ・ トイレ、キッチン付きで、入浴施設は隣の管理棟。
- ・ なお、神居尻地区の宿泊は、コテージのほか林間キャンプ場も利用可能。



やすらぎ棟(コテージ)外観

※右側の建物は管理棟



コテージ 1 階



コテージ 2 階

食事について

道民の森では、各自で用意することとなるが、今回、以下のとおり対応。

- ・ 昼食は、当別町市街地（道民の森から車で40分程度）の仕出し弁当屋の配達を利用。
- ・ 夕食は、宿泊施設隣のBBQ広場にて、持参した食材により焼き肉交流会を実施。
- ・ 朝食は、食堂にて、持参したパンやスープ等の軽食。



1日目夕食会場(BBQ広場)



2日目朝食



2日目昼食



感想など

参加企業様の感想や様子

○ 4人家族でお越しになった社員様 ※日帰り

〈感想〉

・ **木工や植樹体験とともに家族で貴重な体験**を行うことが出来た。

〈様子〉

- ・ 木工体験では、夫妻それぞれが1個ずつ製作。
- ・ 子供はドングリが好きで、椅子に沢山つけたがっていた。

○ 1人でお越しになった社員様 ※宿泊

〈感想〉

- ・ 農業体験のように**植樹体験**は出来ないと思っていたが、**手軽に出来、非常に楽しかった。**
- ・ 好きな時に植樹箇所に行き、案内看板を見れば誰でも植えることが出来るのは非常に良い。
- ・ **テレワーク環境**はこのWifiホームルーターで充分、**オンライン会議の使用に問題無し。**
- ・ 今回のような形でワーケーションを本格的に押し進めるなら、台数の増、音対策があれば良い。
- ・ 道民の森だけで出来ることをウリにすれば良い。
- ・ コテージとBBQ広場は隣同士で便利が良く、他でこういう環境の場所は意外に少ないはず。
- ・ **職場の3、4人でコテージ1部屋に泊まる形とか良い。**

〈様子〉

- ・ 植樹を行った水源の森には、CSR活動として企業が森林づくりを行うエリアがあり、関心があった様子。

感想など

道森林活用課の感想

- 植樹体験は思っていた以上に高評価。
- 葉が青々とした季節が良いと考えていたが、紅葉のなかの散策も良い。森林をフィールドとしていることを活かし、季節ごとに特色のあるプログラムを提供出来たら良い。
- 木工体験は大人も楽しめた。子供向けと大人向け両方あると良い。ただし、2、3歳の幼児は作業できないので若干退屈（コロナでなければ、木の玉プールを用意出来た）。
- 食事について心配していたが心配し過ぎであった。考え方次第である。町で地元の特産品を買い、道民の森に持参するような仕掛けが必要。
- 今回は道森林活用課が企業に声掛けし実施したが、今後自主的に来てもらうためにどうすべきか検討が必要。
- 現状の道民の森(周囲環境も含めて)のウリの明確化が重要。
- 参加企業等のターゲットをどうするか検討が必要。

検討事項

- 道民の森のロケーションや環境を活かした、ワーケーションや企業研修向けの森林体験プログラムの開発
- 道民の森を事例に、他の地域に推進するための考え方整理